



平成23年10月18日(火)

マガキ人工種苗の生育状況について ～宮城県マガキ養殖復興支援プロジェクト～

宮城県マガキ養殖復興支援プロジェクトの取組として、今年の8月に、ヤンマー株式会社、(独)水産総合研究センター東北区水産研究所、東北大学及び宮城県水産技術総合センターが協力して、マガキの人工種苗を原盤で約10,000枚生産しました。松島湾と万石浦に垂下したこれらの種苗について、先日、成長及び生残状況を調査しました。

いずれの調査点においても、平均殻高(かくこう)は10mmを超えており、良好な成長と言えます。ただし、松島湾に垂下した種苗は、今後脱落等により付着数の減少が懸念されます。

生残率は、8月下旬に松島湾に垂下した種苗でやや低くなっていますが、これは垂下水深が他の地域よりも浅いことに由来していると考えられます。

「宮城県マガキ養殖復興支援プロジェクト」の詳細については、ヤンマー株式会社様のHPを御覧下さい。

<http://www.yanmar.co.jp/news/2011/0804-02.html>

表 マガキ人工種苗の成長及び生残率調査結果

垂下地域	調査日	管理漁協支所	垂下時期	人工種苗の 暫定付着数	人工種苗の暫定 生残率(%)	平均殻高平均 (mm)
万石浦	10/12	石巻湾	8月上旬	18	30.1	12.9
〃		〃	8月下旬	80	41.9	12.4
松島湾	10/11	松島	8月上旬	22	37.5	29.3
		鳴瀬	8月下旬	30	16.0	16.0



写真 垂下している人工種苗の原盤



写真 殻高・生残率の調査